

## 「日本再生・今日から明日へ」会長 田代公男（A4静岡）



晩秋の候、寒さが一段と厳しくなる季節になりました。

今年も一月余となりましたが、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、皆様には、常日頃より後援会活動に、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本年も、9月から10月上旬にかけて、本会の最大事業であります「地域別教育懇談会」が支部主催18会場、本部主催4会場、合計22会場で開催されました。各支部長はじめ支部役員、理事の皆様には、準備設営から運営にとご尽力をいただき、おかげさまで盛会の裡に終了することが出来ました。

出席いただいた会員の皆様から「子供と一緒に出席して本当に良かった」「先生から具体的にお話を伺い安心した」などの意見が寄せられ、この地域別教育懇談会の開催が、会員の皆様のお役に立てたことを嬉しく思っております。この懇談会は子供の学園生活や、

疑問点、不安なことなどを直接先生方にお聞きできる良い機会です。今回参加されなかった会員の皆様におかれましては、来年の懇談会には是非ご参加を賜り、子供の未来設計に役立てて頂きたいと思っております。

また、この場をお借りしてご多忙の中、各会場へ出張して頂きました波多野学長先生をはじめとする教職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

本年度の特別事業である「東門」周辺の改修工事も10月下旬に完了しました。外壁にフェンスを設置、「南東門」を新設してバイクと人の安全性を確保。併せて緑地も整備致しました。大学にお出での折りには、是非ご覧ください。

後援会は、これからも家庭と大学との架け橋として、役員一同、力を合わせて活動して参りますので、益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、震災復興の遅れや、経済不安と日本を取り巻く環境が未だ不透明であります。晴らしい年になりますよう心より願うものです。

## 平成24年度 地域別教育懇談会

～昨年度よりも多くの会員に参加いただきました～



栃木県支部会場全体会にて

平成24年度の地域別教育懇談会は、支部主催18会場、本部主催4会場の計22会場で開催され、昨年度よりも多い605組の会員にご参加いただき、17の会場で出席率が上昇しました。支部長をはじめとする支部役員の皆様のご尽力に心より感謝と御礼を申し上げます。

また、出張教員の数も昨年より26名増員して、面談内容のさらなる充実を図りました。

なお、沖縄県支部主催会場においては、大型台風の影響で、離島からの参加が不可能となったり、開催日を変更するなどのトラブルに見舞われましたが、何とか実施することができました。大変ご苦勞様でした。

個人面談の様子



秋田県支部会場にて挨拶する波多野学長



茨城県支部支部総会の様子

## 支部総会を開催

地域別教育懇談会と同日に11の支部で総会が開催されました。この内10支部で支部長が交代し、前支部長には会長より感謝状が送られました。

新支部長に就任されたのは次の方々です。一年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

- 岩手県支部長 千葉 満 (A3)
  - 北陸支部長再任 杉山清久 (A3)
  - 群馬県支部長 須賀恒男 (C3)
  - 茨城県支部長 額賀貞郎 (C3)
  - 静岡県支部長 阿久津藤子 (A3)
  - 山梨県支部長 保坂和広 (A3)
  - 長野県支部長 竹前泰昭 (A3)
  - 近畿支部長 那須 孝 (E2)
  - 沖縄県支部長 前川朝昭 (C2)
  - 東中国支部長 長谷川正 (C3)
  - 東海支部長 田上幸夫 (E2)
- ～以上開催順、敬称略～

# 平成24年度地域別教育懇談会実施結果一覧

(M=機械工学科 P=ものづくり環境学科 S=創造システム工学科 E=電気電子工学科 C=情報工学科 A=建築学科 L=生活環境デザイン学科)

主催支部名	月日(曜)	開催市町村	開催会場名	対象地域	会員数(人)	出席者数(人)	出席率(%)	大学教員出席者
蔵王支部	9月 1日(土)	山形市	悠湯の郷 ゆさ	山形県・宮城県	85	37	43.5%	梅崎教授(M) 長坂教授(M) 貫井講師(P) 飯塚教授(S) 高橋教授(E) 高瀬准教授(C) 江藤助教(C) 成田剛准教授(A) 勝木准教授(L)
岩手県支部	9月 1日(土)	花巻市	ホテル花巻	岩手県	30	16	53.3%	神教授(M) 渡部教授(S) 青柳教授(E) 丹羽准教授(C) 吉村助教(A) 小竿講師(L)
北陸支部	9月 1日(土)	富山市	富山電気ビルディング	富山県・石川県 福井県	21	11	52.4%	二ノ宮准教授(M) 佐野准教授(S) 神野教授(E) 石原助教(C) 田中准教授(A)
群馬県支部	9月 2日(日)	高崎市	高崎ビューホテル	群馬県	315	60	19.0%	波多野学長 古閑教授(M) 中野准教授(M) 八木田教授(P) 田村講師(S) 吉田准教授(E) 平栗准教授(E) 北久保准教授(C) 辻村准教授(C) 白石教授(A) 那須准教授(A) 黒津教授(L)
茨城県支部	9月 2日(日)	筑西市	ホテルニューつたや	茨城県	420	80	19.0%	有賀教授(M) 細田准教授(M) 丹治講師(M) 鈴木宏典准教授(P) 鈴木教授(S) 飯塚准教授(S) 石川教授(E) 森准教授(E) 片山教授(C) 糸野准教授(C) 勝間田講師(C) 三坂教授(A) 上田助教(A) 川村教授(L)
千葉県支部	9月 2日(日)	千葉市	京葉銀行文化プラザ	千葉県	168	23	13.7%	成田教務部長 大島教授(M) 野口准教授(M) 樋口准教授(S) 宇賀神教授(E) 松田助教(C) 武田教授(A)
静岡県支部	9月 8日(土)	静岡市	静岡商工会議所静岡事務所会館	静岡県	52	16	30.8%	高木准教授(M) 伴准教授(S) 上野准教授(E) 神林准教授(C) 白石教授(A) 佐々木准教授(A) 瀬戸教授(L)
本部(九州)	9月 9日(日)	鹿児島市	城山観光ホテル	九州	7	5	71.4%	藤田総務部長
本部(四国)	9月 9日(日)	高知市	高知共済会館コミュニティスクエア	四国	8	6	75.0%	倉島財務部長
本部(北海道)	9月 9日(日)	札幌市	K K R ホテル札幌	北海道	12	2	16.7%	磯財務課長
山梨県支部	9月15日(土)	笛吹市	ホテル春日居	山梨県	17	6	35.3%	藤田総務部長 細田准教授(M) 森准教授(E) 石原助教(C) 徐准教授(A) 瀬戸教授(L)
長野県支部	9月15日(土)	長野市	ホテル信濃路	長野県	63	19	30.2%	竹内学生支援部長 張准教授(M) 伴准教授(S) 棕田教授(C) 田中准教授(A) 黒津教授(L)
秋田県支部	9月15日(土)	秋田市	第一会館本館	秋田県	28	17	60.7%	波多野学長 古閑教授(M) 佐野准教授(S) 西村教授(E) 丹羽准教授(C) 三坂教授(A)
栃木県支部	9月16日(日)	宇都宮市	ホテル丸治	栃木県	364	75	20.6%	梅崎教授(M) 高木准教授(M) 石田准教授(P) 櫛橋准教授(S) 滝田准教授(S) 青柳教授(E) 木許講師(E) 正道寺教授(C) 糸野准教授(C) 小川教授(A) 瀬戸教授(L)
新潟県支部	9月16日(日)	長岡市	長岡グランドホテル	新潟県	63	25	39.7%	岡崎助教(M) 小野教授(P) 三宅教授(S) 高橋教授(E) 石川教授(C) 武田教授(A) 小竿講師(L)
近畿支部	9月17日(月・祝)	尼崎市	ホテルホップインミング	大阪府・京都府 奈良県・滋賀県 兵庫県・和歌山県	19	6	31.6%	村田教授(M) 於保教授(E) 坂本教授(C) 吉村助教(A) 足立准教授(L)
福島県支部	9月22日(土)	郡山市	清稜山倶楽部	福島県	95	39	41.1%	神教授(M) 佐藤教授(P) 星野教授(S) 神野教授(E) 木村助教(E) 山地准教授(C) 三坂教授(A) 田中准教授(A) 勝木准教授(L)
沖縄県支部	9月29日(土)	那覇市	沖縄県青年会館	沖縄県	9	3	33.3%	渡辺教授(L)
青森県支部	9月29日(土)	青森市	青森国際ホテル	青森県	78	26	33.3%	張准教授(M) 八木田教授(P) 中里教授(S) 富山講師(E) 山地准教授(C) 小川教授(A) 上田助教(A) 川村教授(L)
西中国支部	9月29日(土)	福山市	広島県民文化センターふくやま	広島県・山口県 島根県	7	4	57.1%	柳澤副理事長 平栗准教授(E) 片山教授(C) 成田剛准教授(A)
東中国支部				岡山県・鳥取県	3	3	100%	
東海支部	9月30日(日)	名古屋市	東京第一ホテル錦	愛知県・三重県 岐阜県	11	5	45.5%	藤田総務部長 野口准教授(M) 上野准教授(E) 勝間田助教(C) 那須准教授(A)
本部(近県)	10月 7日(日)	宮代町	大学	東京都・埼玉県 神奈川県	2,439	121	5.0%	成田教務部長 竹内学生支援部長 渡部教育研究推進室長 藤田総務部長 倉島財務部長 栗本教務課長 吉見学生支援課長 初見就職支援課長 各学科主任7名 共通教育系主任 M7名,P2名,S3名,E7名,C6名,A2名,L1名
合計			22会場		4,314	605	14.0%	延べ174名(昨年度は148名)

※職名は開催日現在

# 第44回 若杉祭 ～若過ぎ魂 (Soul)～



波多野学長より大学の教育について伺いました



目の前で落雷実験を見学 (UHVセンター)



本学の英語の教育方針について聞く (英語教育センターにて)



初出展の沖縄そばも大好評 (沖縄県人会)



全国から47名の理事が集まりました

11月2(金)～4日(日)の3日間にわたり、大学キャンパスにおいて若杉祭が開催されました。今年のテーマは「若過ぎ魂 (Soul)」。

連日晴天に恵まれ、3日(土)には、ホームカミングデーも開催。多くの来場者で賑わいを見せました。

5月に総会において、平成24年度の特別事業として決議いただいた東門周辺の整備が完工し、9月25日には開通式が執り行われました。学友門の新設、正門及び天神門の改修に続き、学生が最も多く利用している「東門」がリニューアルされ、また一つ美しい景観が生まれました。

東門整備と併せて、人とバイク等の安全性の確保と利便性を更に高めるために南東門を新設。学友門から南東門にかけてネットフェ

7支部が大学視察研修を実施  
LCセンターのマルチメディア室にて波多野学長の講話を聴講した後、UHV、英語教育センター、工業技術博物館を見学しました。実際に運転しているSLに乗車し、大感激の会員もいました。



5月に総会において、平成24年度の特別事業として決議いただいた東門周辺の整備が完工し、9月25日には開通式が執り行われました。学友門の新設、正門及び天神門の改修に続き、学生が最も多く利用している「東門」がリニューアルされ、また一つ美しい景観が生まれました。

## 山梨県支部よりベンチを寄贈



山梨県支部より創立30周年を記念してベンチが寄贈され、東門の近くに設置されました。

## 第3回北東北支部役員合同OB会を開催



宮大工が手掛けたという立派な旅館をバックに

第3回目の「北東北支部合同OB会」が7月28日(土)、岩手県花巻温泉郷にある「幸迎館」にて開催されました。今回は、青森、岩手、秋田から計12名のOB及び現役役員と、大学から藤田総務部長、飯島総務課員らが集い、旧交を温めました。

10月20日(土)、新潟県の妙高高原にあるセミナーハウス「赤倉山荘」にて理事会が開催されました。議題は①地域別教育懇談会・支部総会実施報告②予算執行状況について③環境分野研究奨励助成金について④新聞広告についての4件。審議の結果、全ての議案について承認されました。

## セミナーハウス「赤倉山荘」にて理事会を開催

来年は秋田県で開催の予定という事です。たくさんの方が参加されるといいですね。

# 「保護者のための就職ガイダンス」を開催して

就職支援課長 初見 範子

大学の新しい試みとして、10月27日（土）午後1時より、学友会館ホールにおいて「保護者のための就職ガイダンス」が就職支援課主催のもと開催されました。

今回の企画では、主な対象者は、これから就職活動を開始する学部3年次生と大学院1年次生、さらに就職活動の終盤を迎えた4年次生と大学院2年次生の保護者でした。山形県や香川県などの遠方からの出席もあり、約240名の参加がありました。

開催にあたり竹内貞雄学生支援部長より「この講演をきっかけとして、学生の就職状況を理解いただき、今後の就職活動について親子で対話をし、温かくサポートいただきたい」との趣旨説明がありました。

最初に、厚生労働省埼玉労働局職業安定部部長の小野寺徳子氏より「新卒者の雇用状況と埼玉労働局の取組」について講演をいただきました。主な内容は以下の通りです。

◎ハローワークは管内の大学に対し、「一所一大学制」により徹底した支援体制を整えたことにより就職状況の改善（内定率の向上が実現）につながった。

◎本学に対する具体的な支援として、ジョブ・サポーターを出張さ

せ、毎週水曜日午後には本学の「就職活動サポート室」を利用して学生の就職相談と求人情報の提供等を行っている。また、UTA希望者に対しては地方の求人情報を取り寄せ提供している。

◎埼玉労働局ホームページへ本学学生の「自己PR情報」を掲載することで、企業からの逆指名により内定に至る仕組みも実施している。

等々の就職実現まで徹底的な支援を行って行くとの趣旨の説明がありました。

続いて、竹内学生支援部長より「本学の就職状況について」以下の説明がありました。

◎本学の就職（率）状況を全国平均と比較した場合や、関東圏内の理工系大学と比較しても、大きな差は無い。

◎企業が大学新卒者に求める人材像で、最重要視するのは、「話せる学生」「コミュニケーション力のある学生」である。

◎本学の就職支援体制の柱は、「就職支援ガイダンス」と「学内合同企業説明会」である。

①低学年でキャリアデザイン科目を受講し職業観を身につけさせ、3年次秋学期からは、実践に即した「就職支援ガイダンス」を開講している。必ず受

講するようにしてほしい。採用試験の第一通過点である「筆記試験」対策は重要であり受験料はかかるが是非受けさせてほしい。また、社会の動きを知り視野を広げるためにも新聞を読むことを習慣にさせてほしい。

②本学学生の採用を求める企業を招いて開催する「学内合同企業説明会」には必ず参加して欲しい。就職の近道である。等の説明があり、父母への就職活動に対する子供との向き合い方については、勇気をもって今一歩踏み込んで接して欲しいとの「お願い」がありました。

最後に、人事コンサルタント渡邊剛氏により「わが子の就職活動について、親が知っておくべきことは何か」と題しての基調講演が行われました。

①大学生の就職活動の現状について、実際にどのような選考基準・内容で行われているのか。



就職相談会にも多数の保護者と学生が訪れました

学生は、活動するうえでどんな悩みや不安を抱えているのか。いきなり「エントリーシートを書け」と要求する企業があるなど、様々な具体例が示された。

②この厳しい就職戦線を勝ち抜くためには「絶対に諦めないこと」、「今からでも何か真剣に取り組めるもの」を始めていくことが大切であること。

③中小企業を選択肢に入れることで就職の幅が広がることや、社名だけで親の意見や考えを押し付けないこと。

④子供は、心の中では保護者の手助けを求めている。遠慮することなく就職活動に協調体制を持つて関わっていくべきである。「卒業後じっくり就職先を探そう」では絶対ダメ。卒業までに就職先を決めること。

など、具体的な例を、ユーモアを交えて披露され、思わず笑いを誘われる場面が随所にあり、あつという間の90分でした。講演終了後の希望者による「就

職相談会」は、4年次生、大学院2年次生の保護者に対しては就職支援課員が「個別相談」にあたる形で行われました。

3年次生、大学院1年次生については、合同の相談会となり、竹内学生支援部長と講師の渡邊剛氏により、求人情報の検索の仕方、企業情報の探し方、就職活動において実際に起こったこと、最近の就職活動の動向などをより細かく説明をして終了となりました。

大学生ともなると、保護者との会話を嫌がる傾向が表れ「もう子供ではないのだから、やかましく言われたくない」という態度を示しがちです。保護者もつい気を使つて、一歩引いてしまうことが多いのです。あるいは、保護者の視点から将来を心配するあまり、考え方や職業観を頭ごなしに否定したり押し付けたりしてしまうこともあるでしょう。しかし、大学生とはいえ、本当の意味で社会人として働いた経験がまだありません。内心では迷いや不安と闘っているのが現実です。何気ない一言に傷つくこともあれば、無理解への反発心から口を閉ざすこともあるでしょう。保護者としてサポートするためには、焦らず慌てず諦めず温かく接して、適切な距離感を保ち、就職についての会話を重ねていくことが大切かと思えます。そのようなことを考えさせられた一日でした。



人事コンサルタントの渡邊剛氏による基調講演は大反響

# 平成24年度 環境分野研究奨励助成金採択研究テーマ

本年度は以下の5件が採択されました。

研究テーマ及びチームの構成		研究期間	研究の概要	助成額(円)								
1	<table border="1"> <tr> <td>研究テーマ</td> <td>モバイルAR技術を利用した エコミュージアムガイドシステムの開発</td> </tr> <tr> <td>研究代表者</td> <td>勝間田 仁</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>情報工学科講師 勝間田仁</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>倉品宏明(C科3年)、佐久間勝之(C科3年)、 大丸優夢(C科3年)、八嶋大介(C科3年)、 半田達未(C科4年)、野上敦史(C科2年)、 岩谷浩人(C科1年)</td> </tr> </table>	研究テーマ	モバイルAR技術を利用した エコミュージアムガイドシステムの開発	研究代表者	勝間田 仁	教職員	情報工学科講師 勝間田仁	学生	倉品宏明(C科3年)、佐久間勝之(C科3年)、 大丸優夢(C科3年)、八嶋大介(C科3年)、 半田達未(C科4年)、野上敦史(C科2年)、 岩谷浩人(C科1年)	平成24年 8月1日 ～ 平成25年 3月31日	モバイルARは、拡張現実(Augmented Reality)技術を携帯型端末で実現するもので、スマートフォン等のカメラを通して、その場の映像上に様々な情報を重ねてみる事が実現できる。本研究では、キャンパス内の環境設備付近のARマーカーに携帯端末(タブレットPC)のカメラをかざすと、環境設備のための説明がマルチメディアコンテンツとして提示されるシステムの開発を行う。	200,000
研究テーマ	モバイルAR技術を利用した エコミュージアムガイドシステムの開発											
研究代表者	勝間田 仁											
教職員	情報工学科講師 勝間田仁											
学生	倉品宏明(C科3年)、佐久間勝之(C科3年)、 大丸優夢(C科3年)、八嶋大介(C科3年)、 半田達未(C科4年)、野上敦史(C科2年)、 岩谷浩人(C科1年)											
2	<table border="1"> <tr> <td>研究テーマ</td> <td>故郷福島への環境貢献 —超音波除染システムの開発と実践—</td> </tr> <tr> <td>研究代表者</td> <td>神 雅彦</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>機械工学科教授 神 雅彦</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>小澤拓也(M科1年)、村田啓輔(M科1年)、 樋口輝和(M科2年)、坂本剛志(M科3年)、 佐藤陽太(M科3年)、辻輝明(M科4年)、 根本剛見(M科4年)、他1名</td> </tr> </table>	研究テーマ	故郷福島への環境貢献 —超音波除染システムの開発と実践—	研究代表者	神 雅彦	教職員	機械工学科教授 神 雅彦	学生	小澤拓也(M科1年)、村田啓輔(M科1年)、 樋口輝和(M科2年)、坂本剛志(M科3年)、 佐藤陽太(M科3年)、辻輝明(M科4年)、 根本剛見(M科4年)、他1名	平成24年 7月1日 ～ 平成25年 1月30日	福島県などにおいては、道路や屋根などから放射線物質を除去することが喫緊の課題になっている。しかしながら、現在、有効な清掃手段がない、それに対して当研究室において、超音波洗浄を活用した除染技術の研究が行われている。地元福島の学生たちがチームを組み、実験、勉強会および郡山などでのフィールドワークを実践し、超音波洗浄、効果的な除染方法、および地域環境貢献の実施方法に関して研究する。	200,000
研究テーマ	故郷福島への環境貢献 —超音波除染システムの開発と実践—											
研究代表者	神 雅彦											
教職員	機械工学科教授 神 雅彦											
学生	小澤拓也(M科1年)、村田啓輔(M科1年)、 樋口輝和(M科2年)、坂本剛志(M科3年)、 佐藤陽太(M科3年)、辻輝明(M科4年)、 根本剛見(M科4年)、他1名											
3	<table border="1"> <tr> <td>研究テーマ</td> <td>タブレット端末と無線センサネットワークを用いた屋内環境計測システムの開発</td> </tr> <tr> <td>研究代表者</td> <td>高瀬 浩史</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>情報工学科准教授 高瀬 浩史</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>杉下卓也(C科専攻2年)、 阿倍亘朗(C科専攻2年)、 星野翔太(C科4年)、藤安祥太郎(C科4年)、 アルエネジアルハメイディサウド(C科4年)、 瀬尾真(C科4年)、渡辺孝弘(C科2年)、 鈴木佑実(C科1年)</td> </tr> </table>	研究テーマ	タブレット端末と無線センサネットワークを用いた屋内環境計測システムの開発	研究代表者	高瀬 浩史	教職員	情報工学科准教授 高瀬 浩史	学生	杉下卓也(C科専攻2年)、 阿倍亘朗(C科専攻2年)、 星野翔太(C科4年)、藤安祥太郎(C科4年)、 アルエネジアルハメイディサウド(C科4年)、 瀬尾真(C科4年)、渡辺孝弘(C科2年)、 鈴木佑実(C科1年)	平成24年 7月1日 ～ 平成25年 6月30日	原発事故とエネルギー問題に関心が集まるなか、一人ひとりができる省エネ対策が益々重要となっている。研究室や実験室における照明や空調の利用状況を把握することで省エネ意識を高めることを目的とし、本研究では無線センサネットワークと照度・温度などのセンサを組み合わせた大学構内の環境計測システムを試作する。収集したセンサデータをタブレット端末(Android、ipad)などの携帯情報端末上にビジュアル表示するアプリケーションソフトウェアを開発する。	200,000
研究テーマ	タブレット端末と無線センサネットワークを用いた屋内環境計測システムの開発											
研究代表者	高瀬 浩史											
教職員	情報工学科准教授 高瀬 浩史											
学生	杉下卓也(C科専攻2年)、 阿倍亘朗(C科専攻2年)、 星野翔太(C科4年)、藤安祥太郎(C科4年)、 アルエネジアルハメイディサウド(C科4年)、 瀬尾真(C科4年)、渡辺孝弘(C科2年)、 鈴木佑実(C科1年)											
4	<table border="1"> <tr> <td>研究テーマ</td> <td>太陽光発電における 高効率最大電力追尾制御手法の開発</td> </tr> <tr> <td>研究代表者</td> <td>木村 貴幸</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>電気電子工学科助教 木村 貴幸</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>以下の研究チームを構成し、本研究テーマを効率的に遂行する。 ・E科木村研究室、役割:提案手法の構築とシミュレーションでの制御手法の評価 ・長崎大学工学部 電気電子工学科 石塚研究室、 役割:提案手法の実装を用いた手法の評価</td> </tr> </table>	研究テーマ	太陽光発電における 高効率最大電力追尾制御手法の開発	研究代表者	木村 貴幸	教職員	電気電子工学科助教 木村 貴幸	学生	以下の研究チームを構成し、本研究テーマを効率的に遂行する。 ・E科木村研究室、役割:提案手法の構築とシミュレーションでの制御手法の評価 ・長崎大学工学部 電気電子工学科 石塚研究室、 役割:提案手法の実装を用いた手法の評価	平成24年 8月1日 ～ 平成25年 9月1日	安心安全かつ環境にやさしいエコ社会を実現するために、太陽光などの再生可能エネルギーを用いた発電手法の導入が進んでいる。しかし太陽光発電では、部分影などの影響により、発電量が減少してしまう。そこで本研究では、学習機能が導入された最大電力追尾制御手法を提案する。提案する制御手法を応用することにより、より発電量の大きい効率的な太陽光発電システムの構築を目指す。	200,000
研究テーマ	太陽光発電における 高効率最大電力追尾制御手法の開発											
研究代表者	木村 貴幸											
教職員	電気電子工学科助教 木村 貴幸											
学生	以下の研究チームを構成し、本研究テーマを効率的に遂行する。 ・E科木村研究室、役割:提案手法の構築とシミュレーションでの制御手法の評価 ・長崎大学工学部 電気電子工学科 石塚研究室、 役割:提案手法の実装を用いた手法の評価											
5	<table border="1"> <tr> <td>研究テーマ</td> <td>水圧駆動除染ロボットの開発</td> </tr> <tr> <td>研究代表者</td> <td>樋口 勝</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>創造システム工学科准教授 樋口 勝</td> </tr> <tr> <td>学生</td> <td>参加学生は学年を問わず広く募集する。 【チームを編成して2～3台のロボットを製作し、 ロボットコンテスト(競技会)を行う】</td> </tr> </table>	研究テーマ	水圧駆動除染ロボットの開発	研究代表者	樋口 勝	教職員	創造システム工学科准教授 樋口 勝	学生	参加学生は学年を問わず広く募集する。 【チームを編成して2～3台のロボットを製作し、 ロボットコンテスト(競技会)を行う】	平成24年 8月1日 ～ 平成25年 3月31日	学生のエネルギー効率の高い運動機能の理解、ロボット製作の楽しさの実感、そして身近な環境問題としての放射能汚染問題の認識と、この問題の学生の柔軟な発想による解決を目的として、特に危険な屋根の除染を行うロボットを学生中心のプロジェクトチームにより開発する。屋根での長時間の作業を可能とすること、学生の環境に対する意識の向上のため、ロボットの移動等屋根の洗浄の動力を水道水の水圧に限定する。ただし、エネルギーを殆ど使用しない姿勢制御や通信にはバッテリーや電磁モータを使用できるものとする。なお、水圧を利用した移動機構や洗浄器具は多く存在するが、水圧で移動と洗浄の両方を行う機構は申請者の知る限り存在しない。また、このロボットは除染作業だけでなく、本キャンパス内の清掃ロボットとしても活用できる。	200,000
研究テーマ	水圧駆動除染ロボットの開発											
研究代表者	樋口 勝											
教職員	創造システム工学科准教授 樋口 勝											
学生	参加学生は学年を問わず広く募集する。 【チームを編成して2～3台のロボットを製作し、 ロボットコンテスト(競技会)を行う】											

助成総額：1,000,000円

# 後援会行事抄

平成二十四年七月三十日(月)後援会会報九十号、後援会のしおり(平成二十四年度版)、後援

会員の皆様へ、平成二十三年度就職状況発行

八月二日(木) 夏季休業開始(九月二十日まで)

八月二日(木) 三日(金) 盆踊り大会

八月四日(土) 八月五日(日) オープンキャンパス

八月二十五日(土) オープンキャンパス

八月十五日(水) 九月十四日(金) カナダ英語研修

## 第4回 エコ大学ランキング総合1位に!



表彰を受ける柳澤副理事長

NPO法人エコ・リーグが選定する「第4回エコ大学ランキング」において、本学が総合第1位を受賞。本学の環境保全活動への取り組みが、全国レベルで最高評価を得ました。10月23日(火)には都内で表彰式が行われました。

九月一日(土) 蔵王支部教育懇談会(山形市・悠湯の郷 ゆき)、岩手県支部総会・教育懇談会(花巻市・ホテル花巻)、北陸支部総会・教育懇談会(富山市・富山電気ビルディング)

九月二日(日) 群馬県支部総会・教育懇談会(高崎市・高崎ビューホテル)、茨城県支部総会・教育懇談会(筑西市・ホテルニユーつたや)、千葉県支部教育懇談会(千葉市・京葉銀行文化プラザ)

九月八日(土) 静岡県支部総会・教育懇談会(静岡市・静岡商工会議所静岡事務所会館)

九月九日(日) 九州地区教育懇談会(鹿児島市・城山観光ホテル)、四国地区教育懇談会(高知市・高知共済会館コミュニティスクエア)、北海道地区教育懇談会(札幌市・KIRホテル札幌)

九月十日(月) 成績発表(郵送)

九月十五日(土) 山梨県支部総会・教育懇談会(笛吹市・ホテル春日居)、長野県支部総会・教育懇談会(長野市・ホテル信濃路)、秋田県支部教育懇談会(秋田市・第一会館本館)

九月十六日(日) 栃木県支部教育懇談会(宇都宮市・ホテル丸治)、新潟県支部教育懇談会(長岡市・長岡ランドホテル)

九月十七日(月・祝) 近畿支部総会・教育懇談会(尼崎市・ホテルホップインアミニング)

九月二十日(木) 第十三回秋季卒業式、第十五回秋季入学式

九月二十一日(金) 秋学期授業開始

九月二十二日(土) 福島県支部教育懇談会(郡山市・清稜山俱樂部)

九月二十五日(火) 東門開通式

九月二十九日(土) 沖縄県支部総会・教育懇談会(那覇市・沖縄県青年会館)、青森県支部教育懇談会(青森市・青森国際ホテル)、西・東中国支部教育懇談会(福山市・広島県民文化センターふくやま)

九月三十日(日) 東海支部総会・教育懇談会(名古屋市・東京第一ホテル錦)

十月六日(土)、近県教育懇談会打合せ、サービスセンター連絡協議会

十月七日(日) 近県教育懇談会(東京・埼玉・神奈川対象、大分で開催)

十月十三日(土) 宮代会幹事会

十月十四日(日) プロダクトデザインコンテスト表彰式

十月二十日(土) オープンキャンパス

十月二十日(土) 二十一日(日) 役員会・理事会(赤倉山荘)

十月二十七日(土) 保護者のための就職ガイダンス(学生会館)

十一月二日(金) 第七回ビジネスプランコンテスト表彰式

十一月十日(土) 第十六回スターリングエンジンテクノラリー

十一月二十四日(土) 役員会、特別事業委員会、支部連絡協議会、オープンキャンパス、通学路ポランティア清掃

十一月二日(金) 四日(日) 大学祭(テーマ「若過ぎsoul(魂)」)

十一月三日(土) 福島県支部・青森県支部・秋田県支部・千葉県支部・栃木県支部・蔵王支部大

学視察研修、第十三回ホームカミングデー

十一月四日(日) 群馬県支部大学視察研修、第二十六回建築設計競技表彰式

十一月十日(土) 第十六回スターリングエンジンテクノラリー

十一月二十四日(土) 役員会、特別事業委員会、支部連絡協議会、オープンキャンパス、通学路ポランティア清掃

相談票		学科学年	
		学籍番号	
学氏	生名	TEL	
会氏	員名		
連絡先			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			
-----			

### 相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通じて、いつでも学生の成績・生活・就職等)相談にのじられる窓口を開いています。右の票(便箋、ハガキでも結構です)に相談されたい事項や、ご意見、ご希望等)記入の上、事務局宛に)送付下さい。可能ながぎり回答します。  
()意見、)投書、)寄稿も)ごしお寄せください。(事務局)

### 計報

■後援会顧問(第十三代後援会長の中野秀次郎さんが、平成二十四年四月十日に永眠されました。(享年七十六歳)  
■後援会理事(蔵王支部)の石井 幸さんが、平成二十四年九月二十六日に永眠されました。(享年五十六歳)  
故人の本会に対するご厚情に深く感謝申し上げますとともに、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。